

～「科学広報」と「科学コミュニケーション」  
という言葉が持つ意味を考える～

科学広報と科学コミュニケーション  
これらの関係は、お互いに重なり合っているように見えます。  
今、どのように使われている言葉なのでしょう？

今回は、科学広報、科学コミュニケーションの関係を「言葉にして共有する」研究会を開きたいと思います。

企画・運営 加納 圭、水町 衣里、横山 広美 (50音順)  
※新規メンバー、随時募集中！

日時 2010年3月12日 (金) 13:00～17:15  
会場 京都大学 物質-細胞統合システム拠点 (iCeMS=アイセムス)  
本館 2階セミナー室&展示室

第一回科学コミュニケーション研究会@京都2010

スケジュール

13:00～14:30 研究会

自己紹介も兼ねて、これまでに行ったプロジェクトの中から、  
あるプロジェクトの詳細(目的・スケジュール・関わった人たちとその役割分担・結果)  
を発表する。

1. 横山広美 (東京大学大学院理学系研究科 広報・科学コミュニケーション 准教授)  
“広報・科学コミュニケーション”の意図と実際
2. 宮副英恵 (東京大学 数物連携宇宙研究機構 (IPMU) 広報担当)  
サイエンスカフェの人気3つの方法 -IPMU サイエンスカフェ「宇宙」事例-
3. 飯島由多加 (京都大学 iCeMS 国際広報室 リーダー)  
加納圭 (京都大学 iCeMS 科学コミュニケーショングループ 助教)  
動画配信による広報・科学コミュニケーション
4. 平川秀幸 (大阪大学コミュニケーションデザイン・センター 准教授)  
サイエンスカフェと公共的議論の接続 -新しい参加型テクノロジーアセスメントの試み

14:30～15:00 休憩

15:00～17:00 ワークショップ  
「科学広報」と「科学コミュニケーション」という言葉が持つ意味を「言葉にする」ワークショップ

17:00～17:15 おわりに 横山広美

